

一般国道 54 号三刀屋拡幅

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道54号 三刀屋拡幅			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県雲南市三刀屋町三刀屋 至：島根県雲南市木次町里方					延長	4.1 km
事業概要							
一般国道54号は、広島県広島市を起点に広島県三次市を経由し、島根県松江市に至る総延長約180kmの主要幹線道路である。三刀屋拡幅は、島根県雲南市三刀屋町周辺の円滑な交通と交通安全の確保を図るとともに周辺の開発計画に寄与することを目的とした延長4.1kmの道路整備事業である。							
H5年度事業化		H4年度都市計画決定		H10年度用地着手		H11年度工事着手	
全体事業費		約144億円		事業進捗率 (H26年度末現在)		71% 供用済延長 1.2 km	
計画交通量		5,900～19,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1		総費用 (残事業)/(事業全体)		38 / 180 億円	
	(残事業)	1.8		事業費 : 31 / 166億円 維持管理費 : 7.9 / 14億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 69 / 193 億円 走行時間短縮便益 : 66 / 183億円 走行費用減少便益 : 2.4 / 7.9億円 交通事故減少便益 : 0.5 / 2.7億円	
					基準年 平成27年		
感度分析の結果							
(全体事業) 交通量 : B/C=0.9～1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.6～2.0 (交通量±10%) 事業費 : B/C=1.1～1.1 (事業費±10%) 事業費 : B/C=1.7～1.9 (事業費±10%) 事業期間 : B/C=1.0～1.2 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=1.6～1.9 (事業期間±20%)							
事業の効果等							
① 円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が見込まれる【1080千人時間/年→632千人時間/年 41%削減】 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する 【雲南市民バス：吉田大東線、三刀屋線29便/日】 ・雲南市から出雲空港までの所要時間短縮が見込まれる 【雲南市（三刀屋総合センター）～出雲空港：21分→19分】							
② 都市の再生 ・雲南市の市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり 【第2次雲南市総合計画、雲南市都市計画マスタープラン】 ・中心市街地での行う事業 【雲南市中心市街地活性化基本計画】（策定予定）							
③ 国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 【雲南市（三刀屋総合センター）～松江市：38分→36分】 【雲南市（三刀屋総合センター）～出雲市：38分→36分】							
④ 安全で安心できる暮らしの確保 ・三次救急医療施設へのアクセス向上 【雲南市（三刀屋総合センター）～島根県立中央病院31分→30分】							
⑤ 災害への備え ・島根県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道54号）							
⑥ 地球環境の保全 ・CO2排出削減量が約1.4千t/年【85.6千t/年→84.1千t/年】							
⑦ 生活環境の改善・保全 ・NOX排出量が約4.8t/年（約3%）削減【189.9t/年→185.1t/年】 ・SPM排出量が約0.3t/年（約3%）削減【10.3t/年→10.0t/年】							
⑧ 他のプロジェクトとの関係 ・中国横断自動車道尾道松江線と一体的に整備する必要あり ・第2次雲南市総合計画（2015-2024）、雲南市都市計画マスタープラン（H26.2）等との連携プログラムに位置づけられている							
⑨ 救急医療へのアクセス向上を考慮した効果 ・時間短縮約1分、約39人/年が便益享受【11億円※】							
⑩ 環境への影響を考慮した効果 ・約1.4千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【0.7億円※】 ※開通後50年間の便益額として試算した値（参考値）							

関係する地方公共団体等の意見

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、まちづくりの支援、地域経済の発展などが期待されており、雲南市長はもとより、商工会、工業団地振興会、ＪＡ、消防団、住民による協議会など様々な団体から早期整備の要望を受けている。

島根県知事の意見：妥当である。

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、地域経済の発展などに寄与する事業である。県や市の関連する事業なども同時に実施しているところであり、平成27年度開通予定の雲南市三刀屋町下熊谷から雲南市木次町里方（区間③-2）については確実な供用をはかっていただきたい。また、雲南市三刀屋町三刀屋から市道要害1号線までの間（区間①）についても円滑な交通と交通安全の確保を図るための整備を促進していきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

三刀屋拡幅沿線部では、商業施設等も立地し、市街化が進展しており、人口も増加傾向である。

H23年度までの段階的に4車線開通しているが、未開通の里熊大橋交差点間がボトルネックとなり、依然として渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成26年度末で用地買収は60%が完了しており、現在までに三刀屋木次ⅠC周辺から里熊大橋南側までの1.2kmが4車線開通している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に雲南市三刀屋町下熊谷～木次町里方間の4車線開通を予定している。

施設の構造や工法の変更等

橋梁拡幅方法の変更により既設橋脚の補強を必要としない構造へ変更することでコスト削減を図っている。【約7000万円削減】

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

一般国道54号 ^{み と や}三刀屋拡幅 事業再評価

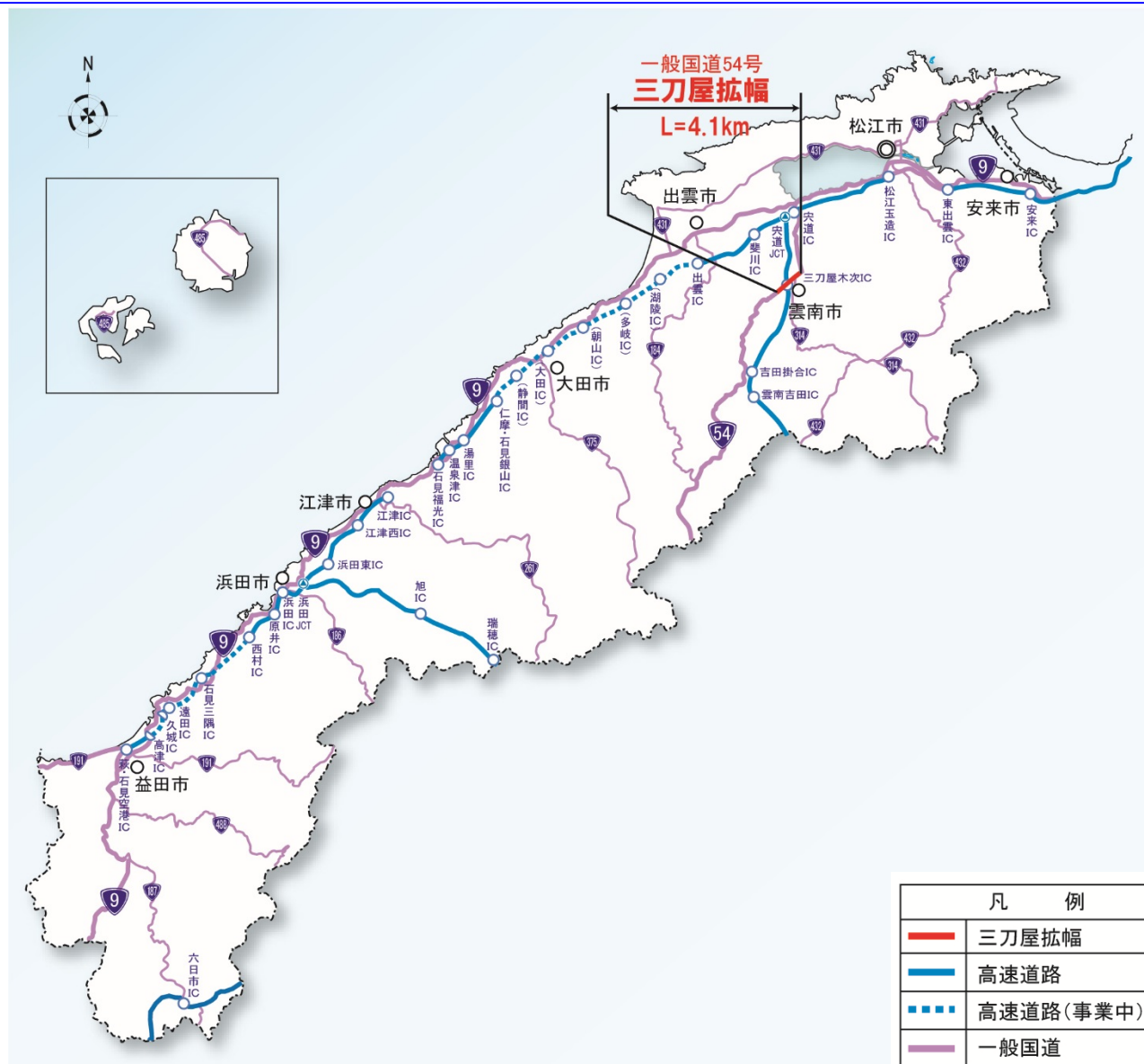
平成27年 12月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道54号 三刀屋拡幅

- 一般国道54号は、広島県広島市を起点に広島県三次市を経由し、島根県松江市に至る総延長約160kmの主要幹線道路である。
- 三刀屋拡幅は、島根県雲南市三刀屋町三刀屋から雲南市木次町里方に至る延長4.1kmの道路整備事業である。



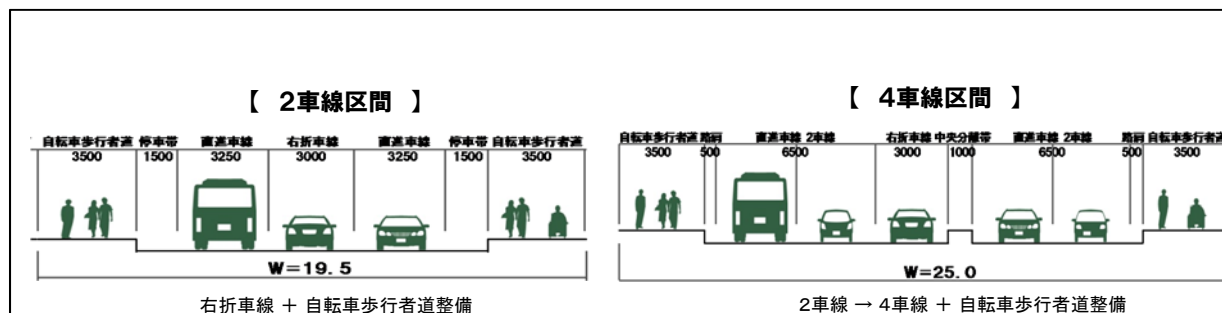
(1)事業概要

・三刀屋^{みとや}拡幅は、島根県雲南市三刀屋町^{うんなみとやちよう}周辺の円滑な交通と交通安全の確保を図ることを目的とした事業である。

計画概要

起 終 点	うんなん みとやちよう みとや 起点：島根県雲南市三刀屋町三刀屋 うんなん きすきちよう さとがた 終点：島根県雲南市木次町里方
計画延長	L = 4. 1 k m
道路規格	第 4 種 第 1 級
設計速度	6 0 k m / h
車線数	2 車線, 4 車線

標準横断面



詳細図



2. 事業概要及び経緯

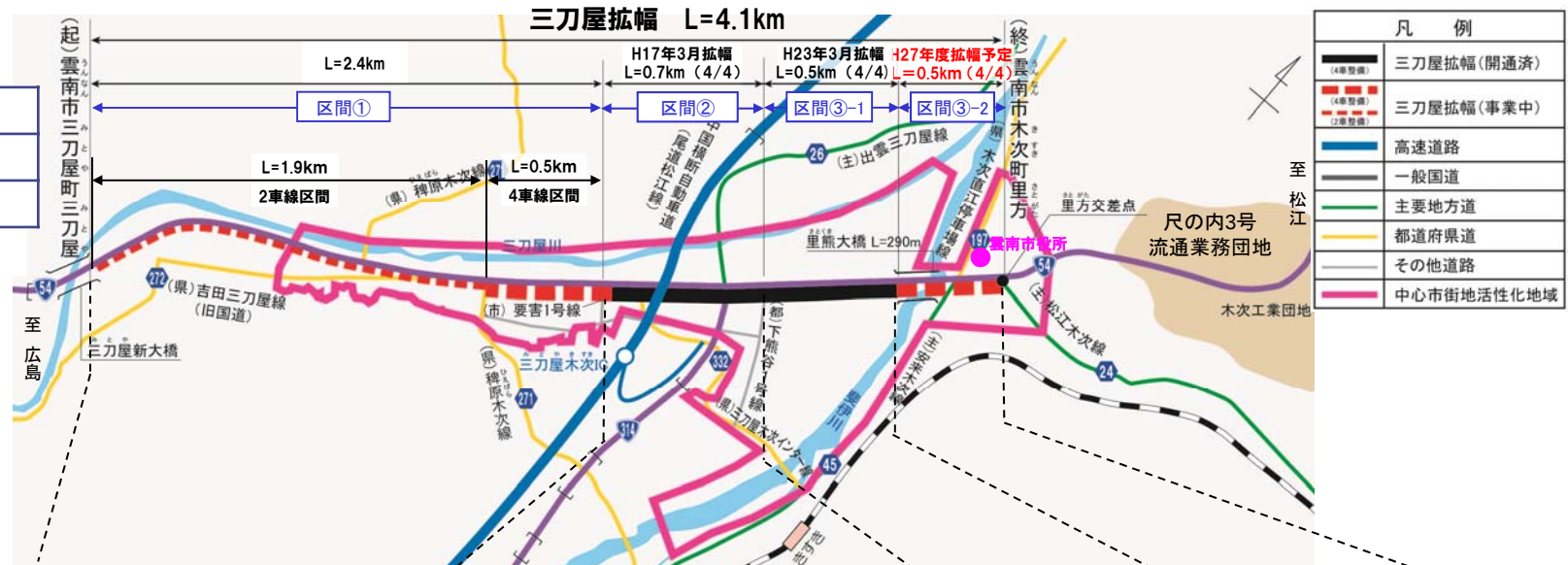
(2) 事業経緯

- 平成5年度に事業着手し、平成23年3月までに三刀屋木次IC周辺から里熊大橋南側までの延長約1.2kmを4車線化している。
- 里熊大橋から雲南市木次町里方までの延長0.5kmの工事を推進し、平成27年度の拡幅を目指している。

●事業の進捗状況 (平成26年度末)

用地	60%
工事	74%
全体	71%

※完成事業費に対する割合

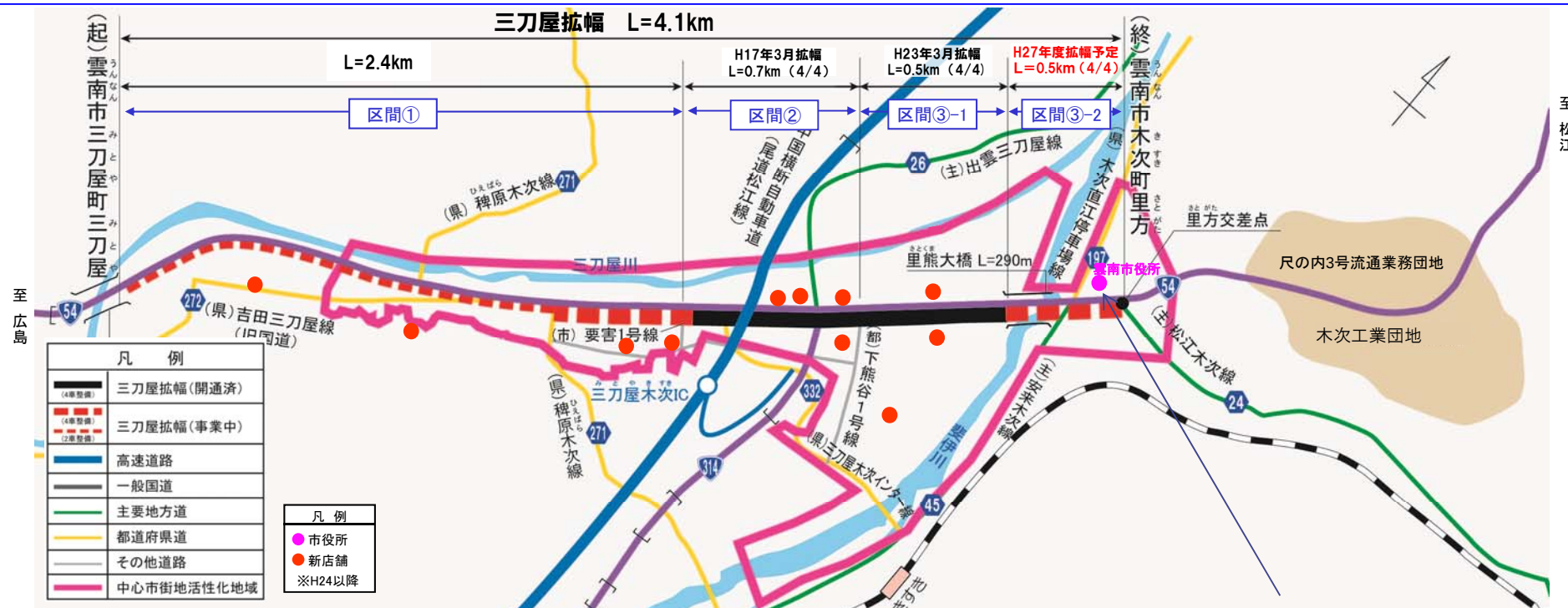


年度	区間	区間① 雲南市三刀屋町三刀屋～(市)要害1号線	区間② (市)要害1号線～(都)下熊谷1号線	区間③(都)下熊谷1号線～雲南市木次町里方	
				区間③-1	区間③-2
平成5年2月		都市計画決定			
平成5年度		事業化			
平成10年度			用地買収着手		
平成11年度			工事着手		
平成16年度			平成17年3月(L=0.7km)拡幅		
平成17年度					里熊大橋側道橋工事着手 (自転車歩行者道橋)
平成19年度				用地買収着手	
平成21年度		中国地方整備局 事業評価監視委員会			
平成22年度		中国地方整備局 事業評価監視委員会(一部区間を2車線整備など道路構造の見直し)			
平成24年度				平成23年3月(L=0.5km)拡幅	里熊大橋側道橋完成
平成26年4月		都市計画変更 (平成24年度事業評価時に承認済)			
平成27年度		中国地方整備局 事業評価監視委員会			平成27年度拡幅予定

3. 前回(H24)評価時からの主な周辺状況の変化

一般国道54号 三刀屋拡幅

- 平成27年3月に中国横断自動車道(尾道松江線)が全線開通。
おのみちまつえ
- 里方交差点付近に雲南市新庁舎の建設が完了し、平成27年10月から業務を開始している。
さとがた うんなん
- 平成27年4月に雲南市中心市街地活性化協議会を設立し、中心市街地活性化基本計画を策定予定。
うんなん



尾道松江線 全線開通

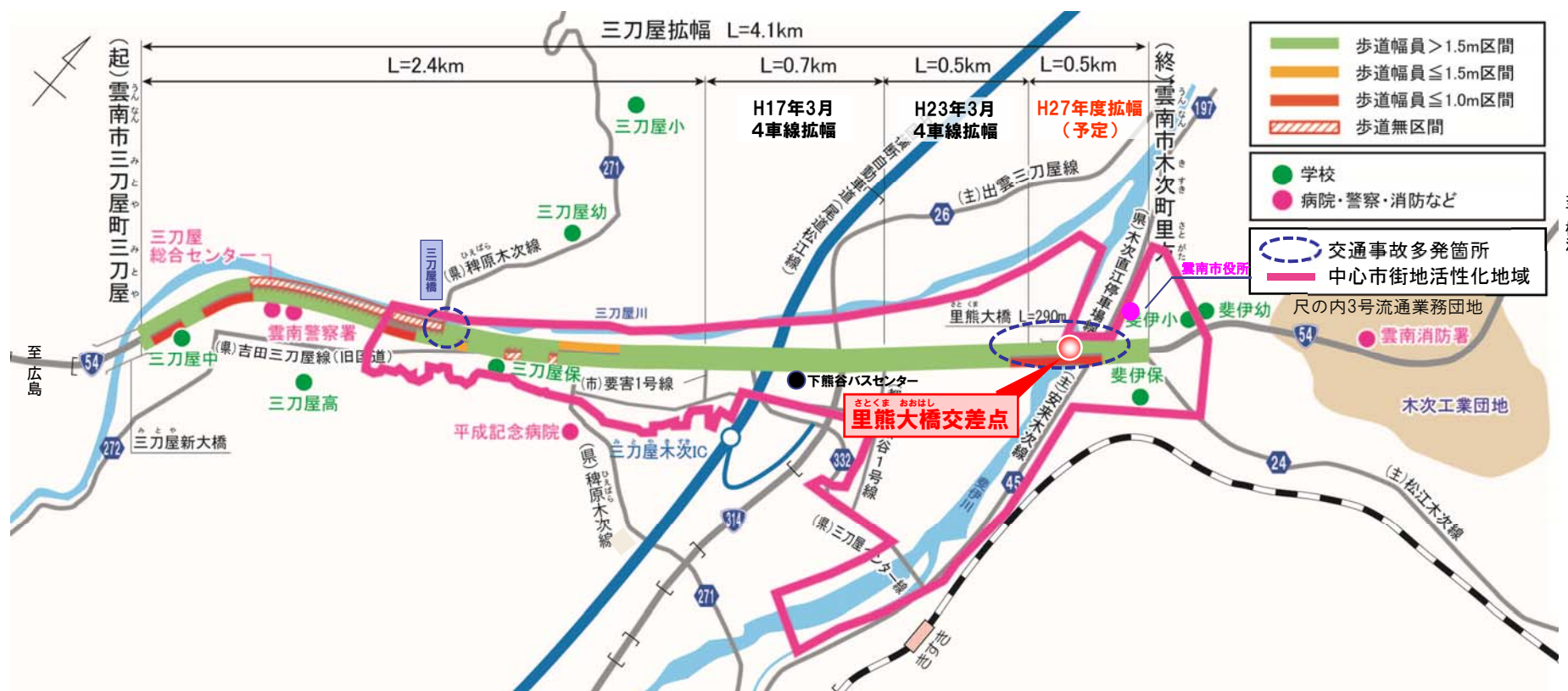


活性化が進む三刀屋市街地



雲南市庁舎





課題①：国道54号で発生する渋滞

⇒損失時間の削減
⇒沿道環境の改善

課題②：安全な生活環境の確保

⇒交通事故件数の削減
⇒通学路などにおける狭隘な歩行空間の改善

課題③:重症患者の救急搬送

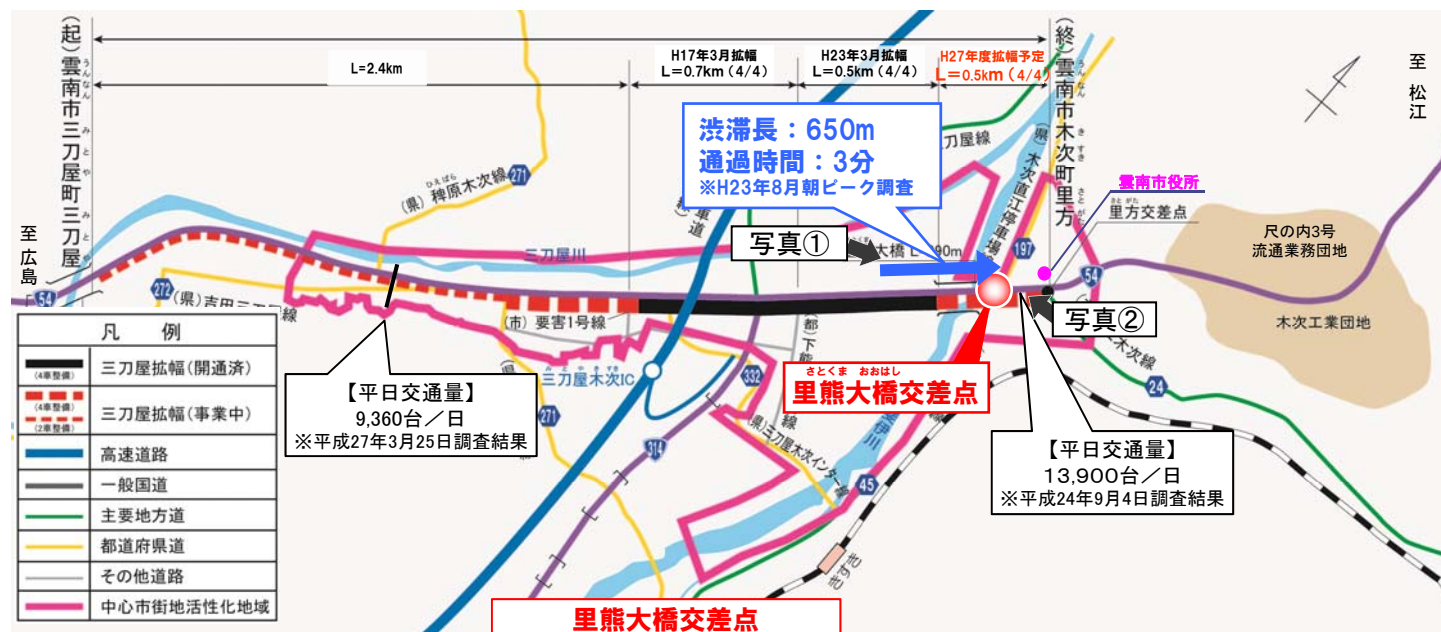
⇒重症患者等の救急搬送を支援

課題④：雲南市のまちづくり

⇒雲南市のまちづくりを支援
⇒中心市街地活性化を支援

課題① 国道54号で発生する渋滞

- ・里熊大橋交差点付近では交通容量が不足しているうえに右折レーンがないため、右折車両が直進車両の走行を阻害し渋滞が発生している。
- ・新設橋梁により4車線化を図り、さらに交差点に右折レーンを設けることで、円滑な交通が期待される。



地域の声(三刀屋拡幅への期待)

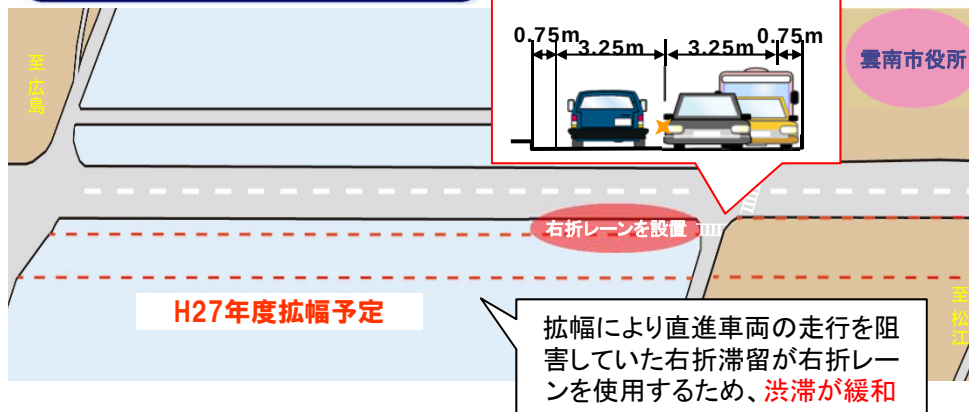


【住民の声】

- ・三刀屋での国道54号は、交差点に右折レーンがないことから、通勤時に渋滞が発生しているため、早期に4車線化を進めてほしい。

資料: H27 ヒアリング調査

拡幅による渋滞緩和への期待



①里熊大橋交差点の渋滞状況



②里熊大橋交差点の渋滞状況

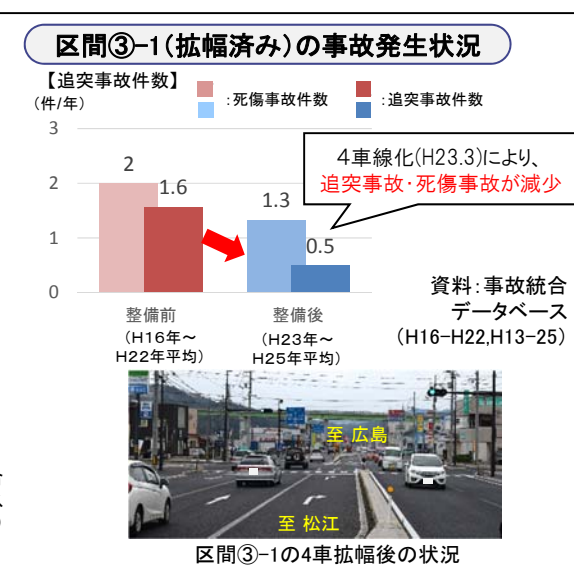
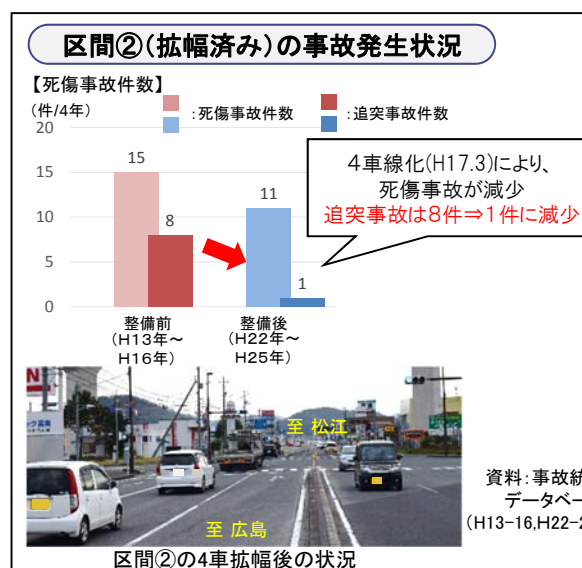
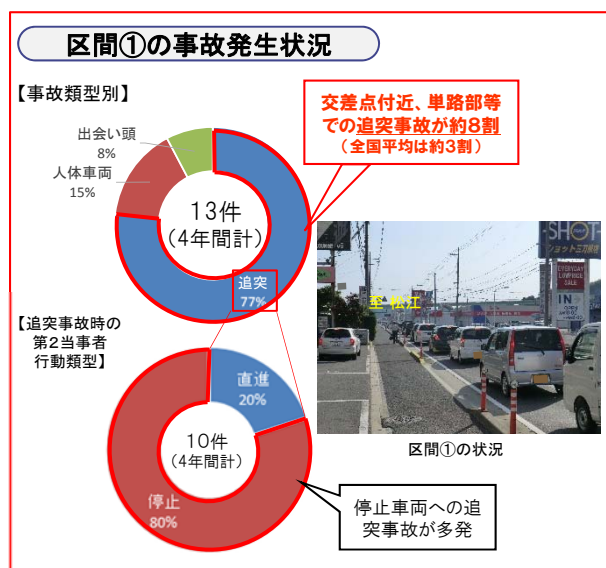
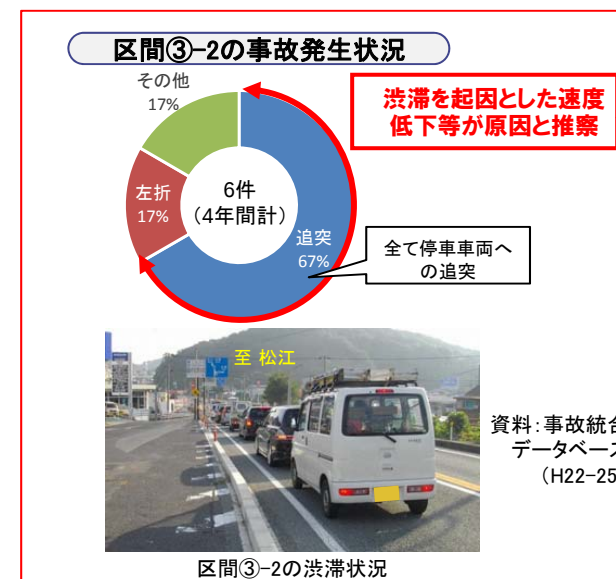
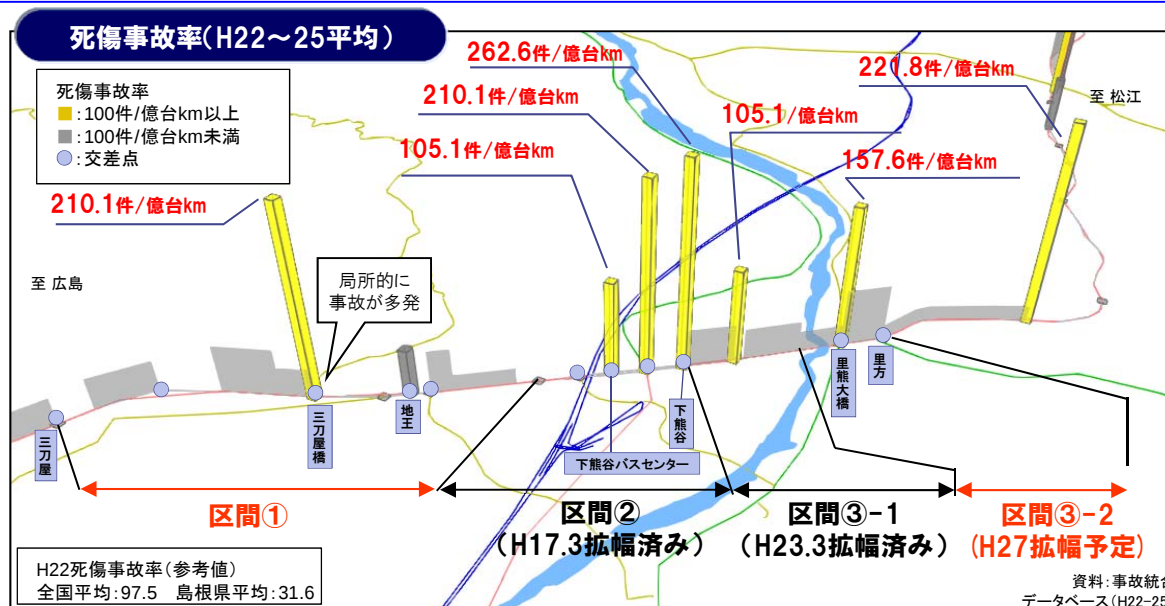


4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道54号 三刀屋拡幅

課題②-1 安全な生活環境の確保

- これまでの4車線整備により死傷事故が減少しているものの、^{さとくまおはし}里熊大橋交差点付近では渋滞が原因とみられる追突事故が多発している。
- 三刀屋拡幅の4車線化及び右折レーン等の整備により交通事故件数の削減が期待される。



一般国道54号 三刀屋拡幅

- ・三刀屋^{みとや}拡幅沿線には、学校・病院等の施設が多く立地しているため、歩行者・自転車が多いが、歩道の狭隘な区間・歩道未整備区間が多く、歩行者や自転車の通行に支障が生じている。

・4車線拡幅済み区間や自転車歩行者道の里熊大橋側道橋では、安全な歩行空間が確保され、歩行者等の安全性が向上している。



整備前の歩行者・自転車空間



整備後の里熊大橋側道橋



①歩道幅員1.0m以下



②步道幅員1.5m以下

【周辺教育機関の声】

- ・通学時に、国道54号を通ることがあるので4車線化に合わせて、歩道の整備(今より広めに)をして欲しい。
- ・部活動を終えた自転車通学の高校生が安全に通行できるようにしてほしい。

資料：H27 ヒアリング調査



通学路などにおける狭隘な歩行空間の改善



整備前の歩行者・自転車空間

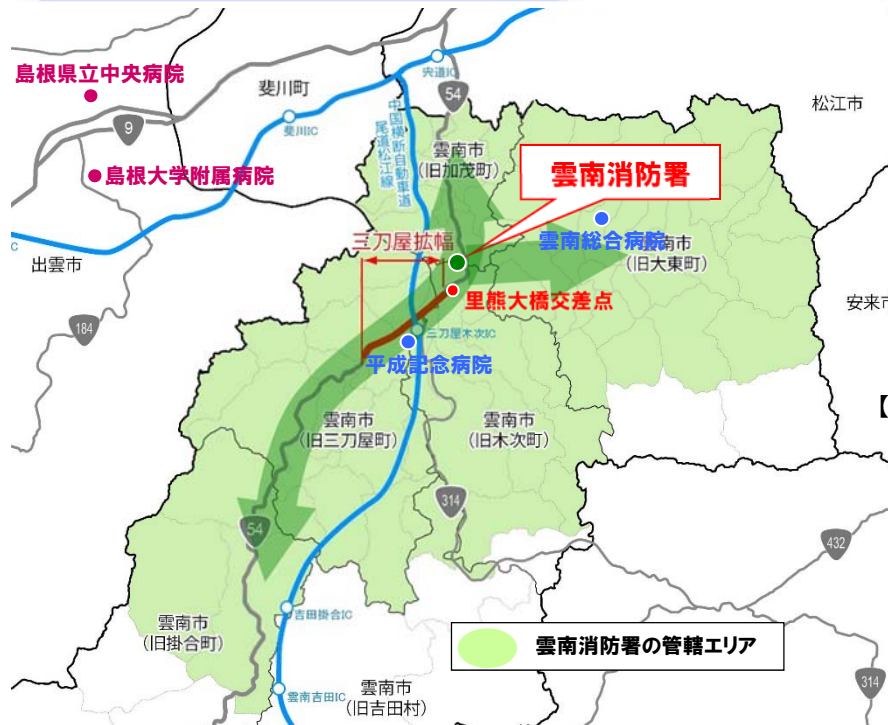


整備後の歩行者・自転車空間

課題③ 重症患者等の救急搬送を支援

- ・雲南消防署では、国道54号等を利用し平成記念病院、雲南総合病院等の2次救急医療機関に救急患者を搬送している。
- ・里熊大橋交差点の渋滞解消により、救急搬送を支援することが期待される。

雲南消防署の重症患者等の救急搬送状況



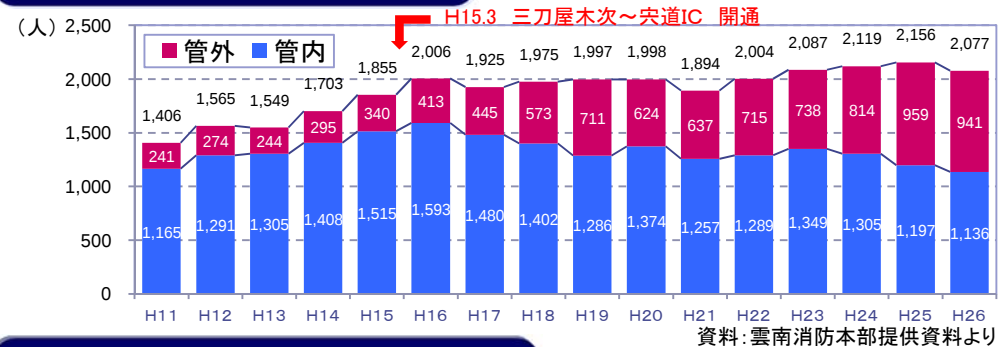
雲南消防署では国道54号沿線地域を中心に出勤・搬送を担っている

(心肺停止・重傷患者の救急搬送：年間**279人**) ※H26年搬送実績

出典：雲南消防本部へのヒアリング

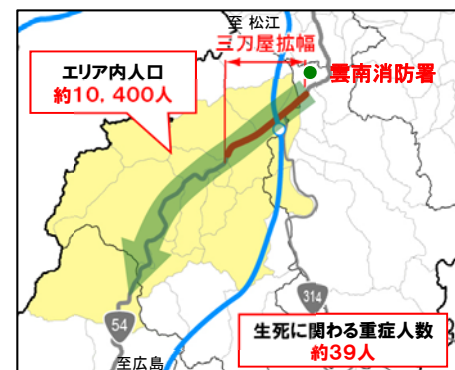
〈期待される道路の役割（効果）〉
三刀屋拡幅により、救急車の搬送時間が短縮し、救命率の向上が期待される。

雲南消防本部の救急搬送人数の推移

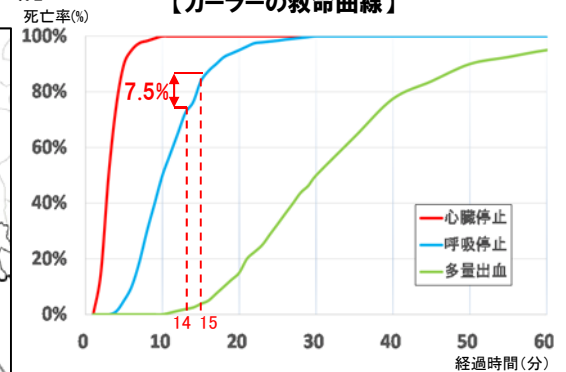


救急医療を考慮した効果(試算した参考値)

【三刀屋拡幅により救急医療の便益を享受する地域】



【カーラーの救命曲線】



■例:呼吸停止の場合 経過時間15分→14分 7.5%救命率が向上

■ 三刀屋拡幅により、救命される人数 0.28人／年

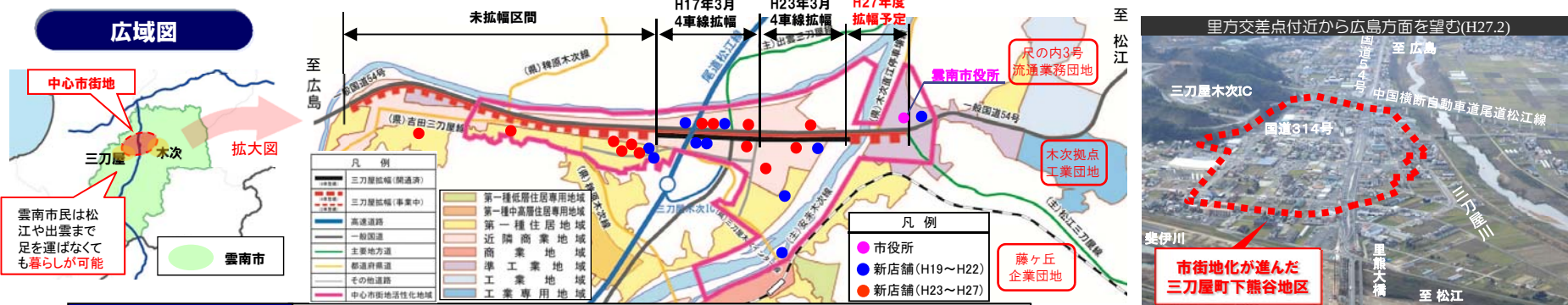
■ 50年間の便益額:11億円

4. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道54号 三刀屋拡幅

課題④ 雲南市のまちづくり・中心市街地活性化を支援

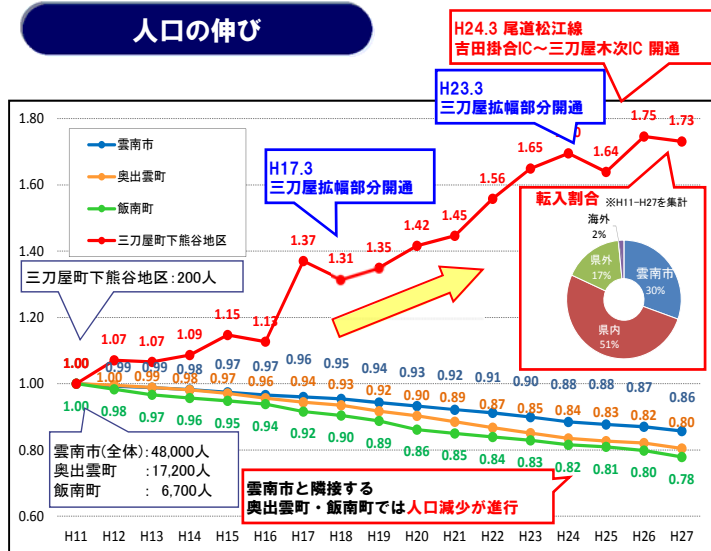
- ・雲南市全体の発展を目指すとともに、商業地域と居住地域が一体となった「歩いて暮らすまちづくり」の形成を掲げている。
- ・三刀屋周辺では、尾道松江線と三刀屋拡幅の部分開通に合わせ新規店舗の進出や企業立地が進んでおり、製造品出荷額も増加している。
- ・周辺地域の人口減少が進行中、三刀屋拡幅周辺の中心市街地エリアの人口が増加しており、雲南市の人口減少を緩和している。



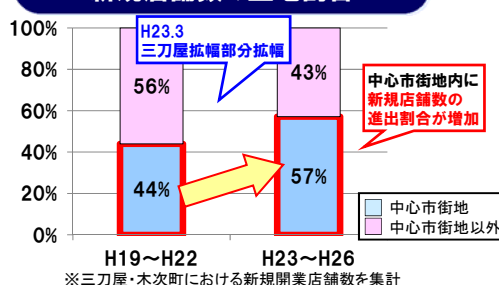
中心市街地活性化基本計画(案)

1. 市街地の整備推進により、雲南市全体の発展を目指す。
→魅力的な商業集積による賑わいの創出
2. 商業地域と居住地域が一体となった「歩いて暮らすまちづくり」の形成。
→歩道整備等による、暮らしやすくなる地域づくりより、定住人口の増加

人口の伸び



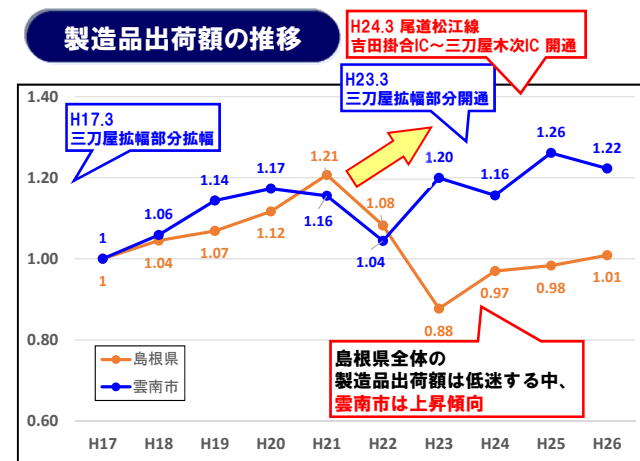
新規店舗数の立地割合



雲南市における企業誘致



製造品出荷額の推移



地域の声

・三刀屋周辺では街並みに歴然とした差があり、雲南市の新しい「まちづくり」には三刀屋拡張事業が欠かせないと思う。

資料: H27 ヒアリング調査

5. コスト縮減に対する取り組み

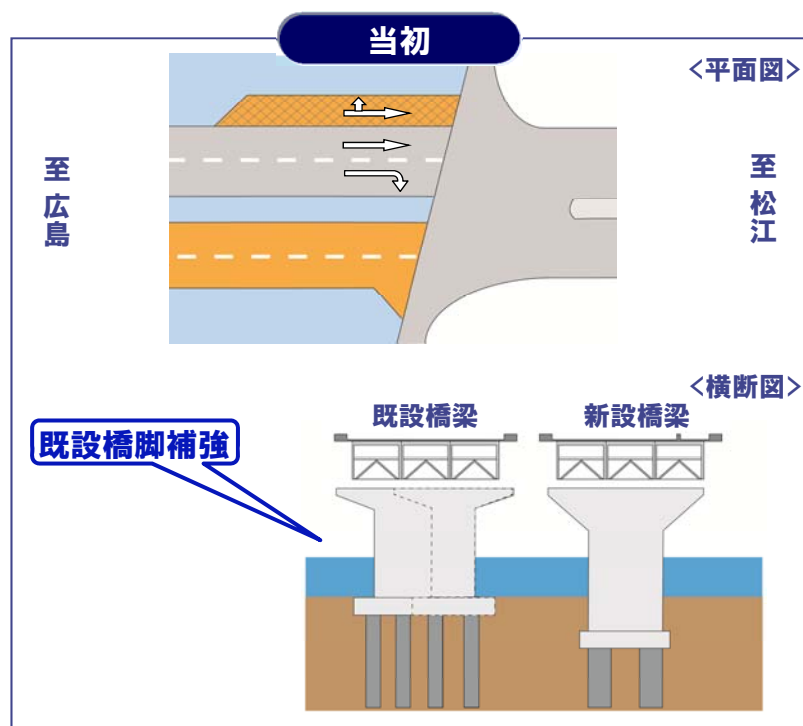
一般国道54号 三刀屋拡幅

<コスト縮減に対する取り組み> 橋梁拡幅方法の再検討

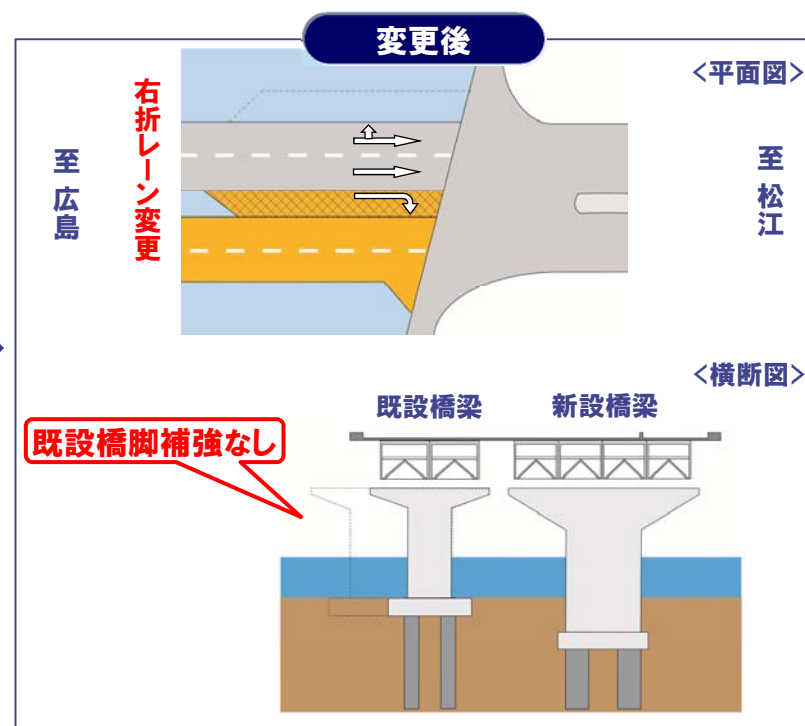
橋梁拡幅方法の変更によるコスト縮減

橋梁拡幅方法を再検討し、新設橋梁側に右折レーンを設けることで、既設橋脚の補強を必要としない構造へ変更し、**約7,000万円のコスト縮減。**

拡幅方法変更図



再検討



橋梁拡幅方法を再検討し、約7,000万円のコスト縮減

6. 事業の効果

一般国道54号 三刀屋拡幅

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	180	38
事業費	166	31
維持管理費	14	7.9
便益額 (B)	193	69
走行時間短縮便益	183	66
走行経費減少便益	7.9	2.4
交通事故減少便益	2.7	0.5
費用便益比	1.1	1.8

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費(燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費)の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失(運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等)が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割(+α)

①救急医療を考慮した効果[時間短縮約1分、約39人/年が便益享受]【+11億円】※1

三刀屋拡幅整備によって、救急車が現場に到着し救命処置を施されるまでの時間短縮により、救命される効果を算定。

②雲南市の魅力あるまちづくり(中心市街地形成や商業集積など)を支援

[宅地化等による人口増加(対H11:1.7倍)、中心市街地への新規店舗割合の増加(44%→57%)]

③環境への影響を考慮した効果[約1,400t/年のCO2削減]【+0.7億円】※1, ※2

三刀屋拡幅整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算出。

④沿道環境の改善[Nox排出量:約4.8t/年(3%)削減、SPM排出量:0.3t/年(3%)削減]※2

※1 【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算出

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	総便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考①(3便益)	5,900台/日～19,000台/日	約144億円	180億円	193億円	1.1 (1.8)
参考②(その他の道路の役割を考慮)	5,900台/日～19,000台/日	約144億円	180億円	193億円+α	—

※基準年: H27年

7. 今後の対応方針(原案)

一般国道54号 三刀屋拡幅

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇三刀屋拡幅沿線部では、商業施設等も立地し、市街化が進展しており、人口も増加傾向である。
- ◇H23年度までの段階的に4車線化しているが、未拡幅の里熊大橋がボトルネックとなり、依然として渋滞が発生している。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C) = 1.1 (事業全体) 1.8 (残事業)

◇道路の役割

①救急医療を考慮した効果[時間短縮約1分、約39人/年が便益享受]【+11億円】※1

三刀屋拡幅整備によって、救急車が現場に到着し救命処置を施されるまでの時間短縮により、救命される効果を算定。

②雲南市の魅力あるまちづくり(中心市街地形成や商業集積など)を支援

[宅地化等による人口増加(対H11:1.7倍)]中心市街地への新規店舗割合の増加(44%→57%)

③環境への影響を考慮した効果[約1,400t/年のCO2削減]【+0.7億円】※1,※2

三刀屋拡幅整備に伴う速度向上による地球環境(CO2)の改善効果を算出。

④沿道環境の改善[Nox排出量:約4.8t/年(3%)削減、SPM排出量:0.3t/年(3%)削減]※2

※1 【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算出

3) 事業の進捗状況

◇平成26年度末で用地買収は60%が完了しており、現在までに三刀屋木次IC周辺から里熊大橋南側までの1.2kmが4車線化している。

②事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に雲南市三刀屋町下熊谷～木次町里方間の4車線開通を予定している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇橋梁拡幅方法の変更により既設橋脚の補強を必要としない構造へ変更することでコスト縮減を図っている。

2. 県への意見照会結果

◇島根県知事の意見:妥当である。

三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、地域経済の発展などに寄付する事業である。県や市の関連する事業なども同時に実施しているところであり、平成27年度開通予定の雲南市三刀屋町下熊谷から雲南市木次町里方(区間③-2)については確実な供用をはかっていただきたい。また、雲南市三刀屋町三刀屋から市道要害1号線までの間(区間①)についても円滑な交通と交通安全の確保を図るための整備を促進していきたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ・上記①②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ・今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

◆前回評価時との比較

	前回再評価 (平成24年度)	今回再評価 (平成27年度)	備 考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=4.1km	L=4.1km	
計画交通量	5,400台/日 ~19,500台/日	5,900/日 ~19,000/日	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映
総事業費	約144億円	約144億円	
総費用 (C)	168億円	180億円	・基準年の変更(H24基準からH27基準)
総便益 (B)	180億円	193億円	・将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】に示された第二段階の改善を反映 ・基準年の変更(H24基準からH27基準)
費用対効果 (B/C)	1.1	1.1	総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

◆交通量(±10%)、事業費(±10%)、事業期間(±20%)を個別に変動させて、費用対便益費(B/C)を算定し、感度分析を行った。

	費用便益費(B/C)						
	基本	交通量		事業費		事業期間	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+20%	-20%
全体事業	1.1	1.2	0.9	1.1	1.1	1.0	1.2
残事業	1.8	2.0	1.6	1.7	1.9	1.6	1.9

一般国道54号三刀屋拡幅
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道54号 三刀屋拡幅
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（B／C）＝1.1 （経済的純現在価値（B－C）＝12億円、経済的内部収益率（E I R R）＝4.3%） 残 事 業：費用便益比（B／C）＝1.8 （経済的純現在価値（B－C）＝30億円、経済的内部収益率（E I R R）＝8.5%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について： 渋滞損失削減時間：448千人・時間/年（1080千人・時間/年⇒632千人・時間/年） 渋滞損失削減率：41%削減 区間b（当該区間／並行区間）について： 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：440千人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：100%削減
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	利便向上が見込まれるバス路線：雲南市民バス吉田大東線、三刀屋線（29便/日）
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港：出雲空港、対象自治体：雲南市（三刀屋総合センター周辺） 改善見込み（三刀屋総合センター～出雲空港、21分⇒19分）
	物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	第2次雲南市総合計画（2015-2024）、雲南市都市計画区域マスタープラン（H26. 2）
		■ 中心市街地内で行う事業である	雲南市中心市街地活性化基本計画を策定予定
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☒ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体：雲南市（三刀屋総合センター周辺）、日常生活圏中心都市：松江市、改善見込み（38分⇒36分） 日常生活圏中心都市：出雲市、改善見込み（38分⇒36分）
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		☐ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	対象となる三次医療施設名称：島根県立中央病院、アクセス向上が見込まれる自治体名：雲南市（三刀屋総合センター周辺）（31分⇒30分）

3. 安全	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道54号）
		☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約1.4千t/年（整備なし85.6千t/年⇒整備あり：84.1千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：約4.8t/年（整備なし189.9t/年⇒整備あり：185.1t/年・・・約3%削減）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：約0.3t/年（整備なし10.3t/年⇒整備あり10.0t/年・・・約3%削減）
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	H27.10に里方交差点付近へ雲南市役所が移転されたため、さらなる交通集中が想定される。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道54号	三刀屋拡幅	L=4.1km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5,900～19,000	2、4	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成27年度		
単純合計	139億円	43億円	181億円
うち残事業分	36億円	23億円	59億円
基準年における 現在価値(C)	166億円	14億円	180億円
うち残事業分	31億円	7.9億円	38億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成27年度			
供 用 年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	12億円	0.5億円	0.2億円	12億円
基準年における 現在価値(B)	183億円	7.9億円	2.7億円	193億円
うち残事業分	66億円	2.4億円	0.5億円	69億円

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1.1
経済的純現在価値(事業全体)	13億円
経済的内部収益率(事業全体)	4.3%
費用便益比(残事業)	1.8
経済的純現在価値(残事業)	30億円
経済的内部収益率(残事業)	8.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	5900～19000	±10%	0.9～1.2
事業費	139億円	±10%	1.1～1.1
事業期間	29年	±20%	1.0～1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	5900～19000	±10%	1.6～2.0
事業費	36億円	±10%	1.7～1.9
事業期間	6年	±20%	1.6～1.9

交通状況の変化

事業名:一般国道54号

様式-3①

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 :4.1km		交通量※ ¹	[台/日]	11,000	11,300
		走行時間※ ²	[分]	10	4
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	19.72	8.29
②主な周 辺道路※ ⁴		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :242.5km		走行時間費用	[億円/年]	195.60	195.46

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:246.6km	走行時間短縮便益 [億円/年]	215.32	203.74	11.58

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

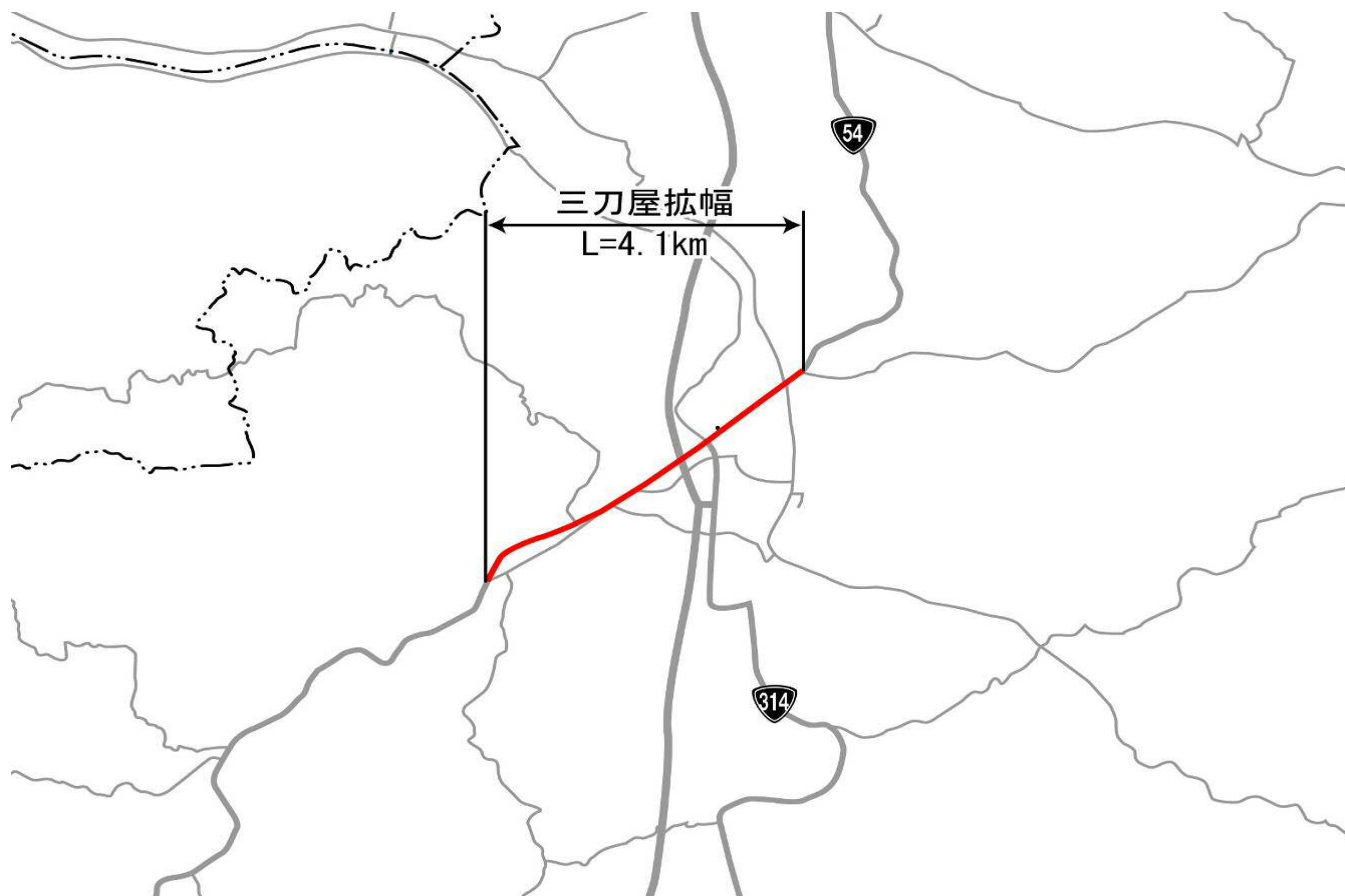
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

事業名:一般国道54号

様式-3①

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 :2.4km		交通量※ ¹	[台/日]	11,200	11,300
		走行時間※ ²	[分]	7	4
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	12.36	8.29
②主な周 辺道路※ ⁴		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :242.5km		走行時間費用	[億円/年]	195.57	195.46

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:246.6km	走行時間短縮便益 [億円/年]	207.93	203.74	4.19

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

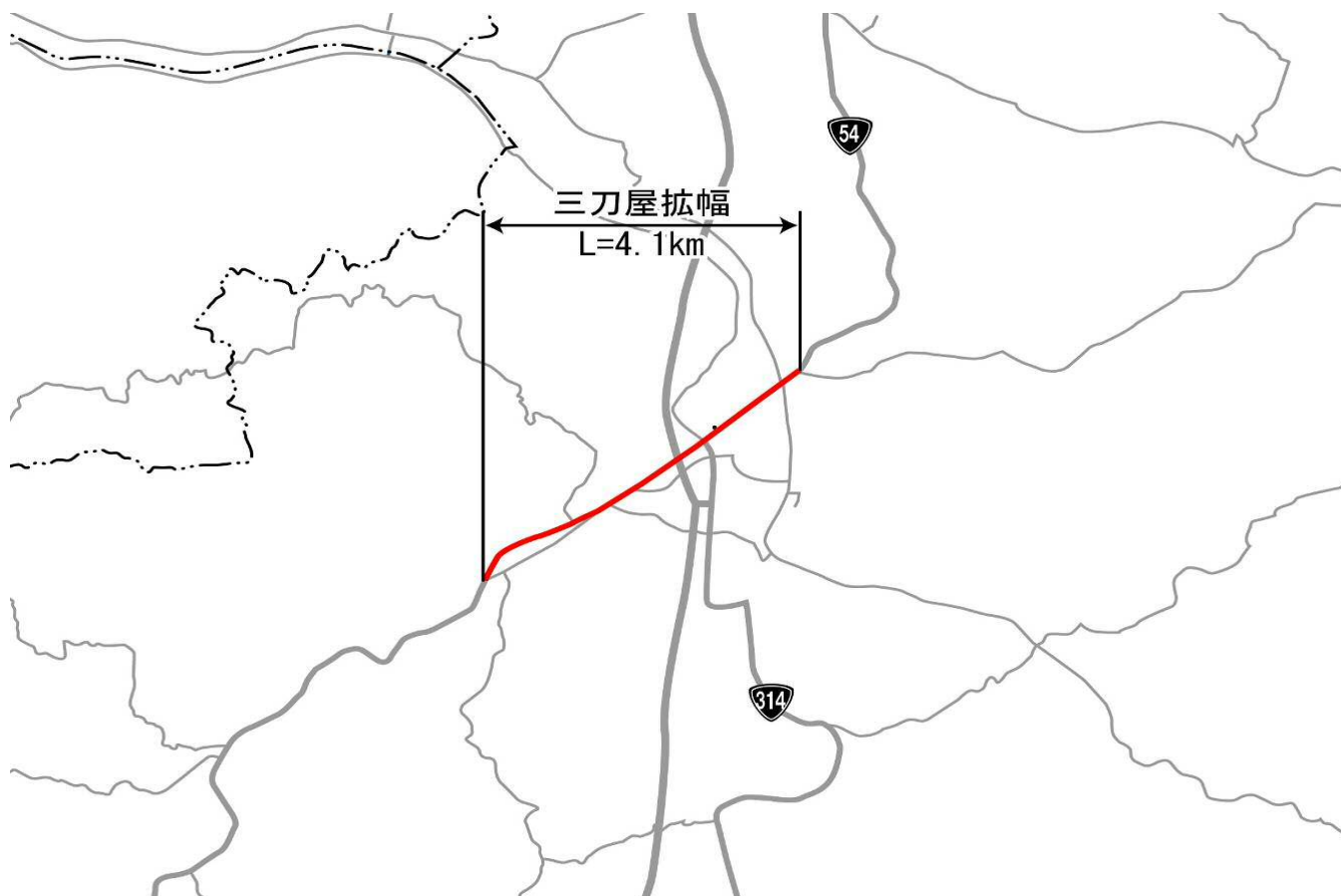
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：三刀屋拡幅

(2)

項目			チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		☒	
	その他		☐	
分析の基本的事項	分析対象期間		50年間	
	社会的割引率		4%	
	基準年次		H27年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		☒ (平成42年)
		複数時点での推計		☐
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法			考慮した理由を記載
		Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐	
その他()				
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		☐	
	採用理由を記載			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)		☒	

— 30 —

事業名：三刀屋拡幅

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☐	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		実績値に基づき維持管理費を算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☒	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		☒
		考慮する		☐
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他 上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:三刀屋拡幅(事業全体)

採用単価の根拠 一般国道(雪寒費含む)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.22	4.1	0.92

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-29年目	H5	2.3699	110.9	0.10	0.19		
-28年目	H6	2.2788	110.8	0.58	1.09		
-27年目	H7	2.1911	109.9	0.29	0.53		
-26年目	H8	2.1068	109.5	0.78	1.37		
-25年目	H9	2.0258	110.4	0.76	1.27		
-24年目	H10	1.9479	109.9	7.93	12.80		
-23年目	H11	1.8730	108.4	5.33	8.39		
-22年目	H12	1.8009	107.2	2.87	4.39		
-21年目	H13	1.7317	105.7	4.67	6.97		
-20年目	H14	1.6651	103.8	12.16	17.77		
-19年目	H15	1.6010	102.3	9.65	13.76		
-18年目	H16	1.5395	101.0	2.14	2.97		
-17年目	H17	1.4802	99.6	3.76	5.09		
-16年目	H18	1.4233	98.7	3.77	4.95		
-15年目	H19	1.3686	97.6	7.52	9.61		
-14年目	H20	1.3159	96.8	5.69	7.05		
-13年目	H21	1.2653	95.6	6.64	8.01		
-12年目	H22	1.2167	93.7	1.30	1.54		
-11年目	H23	1.1699	92.1	0.90	1.04		
-10年目	H24	1.1249	91.3	4.08	4.58		
-9年目	H25	1.0816	91.1	5.87	6.35		
-8年目	H26	1.0400	91.1	11.67	12.14		
-7年目	H27	1.0000	91.1	4.35	4.35		
-6年目	H28	0.9615	91.1	2.48	2.38		
-5年目	H29	0.9246	91.1	6.57	6.07		
-4年目	H30	0.8890	91.1	8.26	7.34		
-3年目	H31	0.8548	91.1	8.22	7.03		
-2年目	H32	0.8219	91.1	5.09	4.18		
-1年目	H33	0.7903	91.1	5.09	4.02		
供用開始年次	H34	0.7599	91.1			0.85	0.65
1年目	H35	0.7307	91.1			0.85	0.62
2年目	H36	0.7026	91.1			0.85	0.60
3年目	H37	0.6756	91.1			0.85	0.58
4年目	H38	0.6496	91.1			0.85	0.55
5年目	H39	0.6246	91.1			0.85	0.53
6年目	H40	0.6006	91.1			0.85	0.51
7年目	H41	0.5775	91.1			0.85	0.49
8年目	H42	0.5553	91.1			0.85	0.47
9年目	H43	0.5339	91.1			0.85	0.45
10年目	H44	0.5134	91.1			0.85	0.44
11年目	H45	0.4936	91.1			0.85	0.42
12年目	H46	0.4746	91.1			0.85	0.40
13年目	H47	0.4564	91.1			0.85	0.39
14年目	H48	0.4388	91.1			0.85	0.37
15年目	H49	0.4220	91.1			0.85	0.36
16年目	H50	0.4057	91.1			0.85	0.35
17年目	H51	0.3901	91.1			0.85	0.33
18年目	H52	0.3751	91.1			0.85	0.32
19年目	H53	0.3607	91.1			0.85	0.31
20年目	H54	0.3468	91.1			0.85	0.30
21年目	H55	0.3335	91.1			0.85	0.28
22年目	H56	0.3207	91.1			0.85	0.27
23年目	H57	0.3083	91.1			0.85	0.26
24年目	H58	0.2965	91.1			0.85	0.25
25年目	H59	0.2851	91.1			0.85	0.24
26年目	H60	0.2741	91.1			0.85	0.23
27年目	H61	0.2636	91.1			0.85	0.22
28年目	H62	0.2534	91.1			0.85	0.22
29年目	H63	0.2437	91.1			0.85	0.21
30年目	H64	0.2343	91.1			0.85	0.20
31年目	H65	0.2253	91.1			0.85	0.19
32年目	H66	0.2166	91.1			0.85	0.18
33年目	H67	0.2083	91.1			0.85	0.18
34年目	H68	0.2003	91.1			0.85	0.17
35年目	H69	0.1926	91.1			0.85	0.16
36年目	H70	0.1852	91.1			0.85	0.16
37年目	H71	0.1780	91.1			0.85	0.15
38年目	H72	0.1712	91.1			0.85	0.15
39年目	H73	0.1646	91.1			0.85	0.14
40年目	H74	0.1583	91.1			0.85	0.13
41年目	H75	0.1522	91.1			0.85	0.13
42年目	H76	0.1463	91.1			0.85	0.12
43年目	H77	0.1407	91.1			0.85	0.12
44年目	H78	0.1353	91.1			0.85	0.12
45年目	H79	0.1301	91.1			0.85	0.11
46年目	H80	0.1251	91.1			0.85	0.11
47年目	H81	0.1203	91.1			0.85	0.10
48年目	H82	0.1157	91.1			0.85	0.10
49年目	H83	0.1112	91.1	-14.79	-1.64	0.85	0.09
合計				123.73	165.59	42.59	14.46

単純事業費計		138.52	42.59
--------	--	--------	-------

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:三刀屋拡幅(残事業)

採用単価の根拠		一般国道(雪寒費含む)
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.21	2.4	0.50

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-6年目	H28	0.9615	91.1	2.48	2.38		
-5年目	H29	0.9246	91.1	6.57	6.07		
-4年目	H30	0.8890	91.1	8.26	7.34		
-3年目	H31	0.8548	91.1	8.22	7.03		
-2年目	H32	0.8219	91.1	5.09	4.18		
-1年目	H33	0.7903	91.1	5.09	4.02		
供用開始年次	H34	0.7599	91.1			0.46	0.35
1年目	H35	0.7307	91.1			0.46	0.34
2年目	H36	0.7026	91.1			0.46	0.33
3年目	H37	0.6756	91.1			0.46	0.31
4年目	H38	0.6496	91.1			0.46	0.30
5年目	H39	0.6246	91.1			0.46	0.29
6年目	H40	0.6006	91.1			0.46	0.28
7年目	H41	0.5775	91.1			0.46	0.27
8年目	H42	0.5553	91.1			0.46	0.26
9年目	H43	0.5339	91.1			0.46	0.25
10年目	H44	0.5134	91.1			0.46	0.24
11年目	H45	0.4936	91.1			0.46	0.23
12年目	H46	0.4746	91.1			0.46	0.22
13年目	H47	0.4564	91.1			0.46	0.21
14年目	H48	0.4388	91.1			0.46	0.20
15年目	H49	0.4220	91.1			0.46	0.20
16年目	H50	0.4057	91.1			0.46	0.19
17年目	H51	0.3901	91.1			0.46	0.18
18年目	H52	0.3751	91.1			0.46	0.17
19年目	H53	0.3607	91.1			0.46	0.17
20年目	H54	0.3468	91.1			0.46	0.16
21年目	H55	0.3335	91.1			0.46	0.15
22年目	H56	0.3207	91.1			0.46	0.15
23年目	H57	0.3083	91.1			0.46	0.14
24年目	H58	0.2965	91.1			0.46	0.14
25年目	H59	0.2851	91.1			0.46	0.13
26年目	H60	0.2741	91.1			0.46	0.13
27年目	H61	0.2636	91.1			0.46	0.12
28年目	H62	0.2534	91.1			0.46	0.12
29年目	H63	0.2437	91.1			0.46	0.11
30年目	H64	0.2343	91.1			0.46	0.11
31年目	H65	0.2253	91.1			0.46	0.10
32年目	H66	0.2166	91.1			0.46	0.10
33年目	H67	0.2083	91.1			0.46	0.10
34年目	H68	0.2003	91.1			0.46	0.09
35年目	H69	0.1926	91.1			0.46	0.09
36年目	H70	0.1852	91.1			0.46	0.09
37年目	H71	0.1780	91.1			0.46	0.08
38年目	H72	0.1712	91.1			0.46	0.08
39年目	H73	0.1646	91.1			0.46	0.08
40年目	H74	0.1583	91.1			0.46	0.07
41年目	H75	0.1522	91.1			0.46	0.07
42年目	H76	0.1463	91.1			0.46	0.07
43年目	H77	0.1407	91.1			0.46	0.07
44年目	H78	0.1353	91.1			0.46	0.06
45年目	H79	0.1301	91.1			0.46	0.06
46年目	H80	0.1251	91.1			0.46	0.06
47年目	H81	0.1203	91.1			0.46	0.06
48年目	H82	0.1157	91.1			0.46	0.05
49年目	H83	0.1112	91.1	-3.96	-0.44	0.46	0.05
合計				31.75	30.59	23.16	7.86

単純事業費計		35.71	23.16
--------	--	-------	-------

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:三刀屋拡幅(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				現在価値 (1)*(A)*(B)	走行経費減少便益(億円)				現在価値 (2)*(A)*(B)	事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計		乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計		③	現在価値 (3)*(A)*(B)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
完成年次	H34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7599	91.1	6.70	2.79	2.28	11.76	8.94	0.19	0.08	0.21	0.48	0.37	0.18	0.13	12.42	9.44
1年目	H35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.7307	91.1	6.67	2.77	2.30	11.74	8.58	0.19	0.08	0.21	0.48	0.35	0.17	0.13	12.40	9.06
2年目	H36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.7026	91.1	6.64	2.75	2.33	11.72	8.23	0.19	0.08	0.22	0.48	0.34	0.17	0.12	12.38	8.70
3年目	H37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6756	91.1	6.62	2.72	2.35	11.69	7.93	0.19	0.08	0.22	0.49	0.33	0.17	0.12	12.35	8.35
4年目	H38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6496	91.1	6.59	2.70	2.38	11.67	7.58	0.19	0.08	0.22	0.49	0.32	0.17	0.11	12.33	8.01
5年目	H39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.6246	91.1	6.57	2.68	2.40	11.65	7.27	0.19	0.08	0.22	0.49	0.30	0.17	0.11	12.31	7.69
6年目	H40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.6006	91.1	6.54	2.66	2.43	11.62	6.98	0.19	0.08	0.23	0.49	0.29	0.17	0.10	12.28	7.38
7年目	H41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5775	91.1	6.51	2.64	2.45	11.60	6.70	0.18	0.08	0.23	0.49	0.28	0.17	0.10	12.26	7.08
8年目	H42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5553	91.1	6.49	2.62	2.47	11.58	6.43	0.18	0.08	0.23	0.49	0.27	0.17	0.10	12.24	6.80
9年目	H43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.5339	91.1	6.42	2.60	2.48	11.49	6.14	0.18	0.08	0.23	0.49	0.26	0.17	0.09	12.15	6.49
10年目	H44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.5134	91.1	6.36	2.58	2.48	11.41	5.86	0.18	0.08	0.23	0.49	0.25	0.17	0.09	12.07	6.19
11年目	H45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4936	91.1	6.29	2.56	2.48	11.33	5.59	0.18	0.08	0.23	0.48	0.24	0.17	0.08	11.98	5.91
12年目	H46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4746	91.1	6.22	2.55	2.48	11.25	5.34	0.18	0.07	0.23	0.48	0.23	0.17	0.08	11.90	5.65
13年目	H47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4564	91.1	6.16	2.53	2.48	11.17	5.10	0.17	0.07	0.23	0.48	0.22	0.16	0.07	11.81	5.39
14年目	H48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4388	91.1	6.09	2.51	2.48	11.09	4.86	0.17	0.07	0.23	0.48	0.21	0.16	0.07	11.72	5.15
15年目	H49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.4220	91.1	6.03	2.49	2.48	11.00	4.64	0.17	0.07	0.23	0.47	0.20	0.16	0.07	11.64	4.91
16年目	H50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.4057	91.1	5.96	2.48	2.48	10.92	4.43	0.17	0.07	0.23	0.47	0.19	0.16	0.07	11.55	4.69
17年目	H51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3901	91.1	5.90	2.46	2.48	10.84	4.23	0.17	0.07	0.23	0.47	0.18	0.16	0.06	11.47	4.47
18年目	H52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3751	91.1	5.83	2.44	2.48	10.76	4.04	0.17	0.07	0.23	0.47	0.18	0.16	0.06	11.38	4.27
19年目	H53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3607	91.1	5.77	2.42	2.48	10.68	3.85	0.16	0.07	0.23	0.47	0.17	0.16	0.06	11.30	4.07
20年目	H54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3468	91.1	5.70	2.41	2.49	10.59	3.67	0.16	0.07	0.23	0.46	0.16	0.15	0.05	11.21	3.89
21年目	H55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3335	91.1	5.64	2.39	2.49	10.51	3.51	0.16	0.07	0.23	0.46	0.15	0.15	0.05	11.13	3.71
22年目	H56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.3207	91.1	5.57	2.37	2.49	10.43	3.34	0.16	0.07	0.23	0.46	0.15	0.15	0.05	11.04	3.54
23年目	H57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.3083	91.1	5.51	2.35	2.49	10.35	3.19	0.16	0.07	0.23	0.46	0.14	0.15	0.05	10.95	3.38
24年目	H58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2965	91.1	5.44	2.34	2.49	10.27	3.04	0.15	0.07	0.23	0.45	0.13	0.15	0.04	10.87	3.22
25年目	H59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2851	91.1	5.38	2.32	2.49	10.18	2.90	0.15	0.07	0.23	0.45	0.13	0.15	0.04	10.78	3.07
26年目	H60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2741	91.1	5.31	2.30	2.49	10.10	2.77	0.15	0.07	0.23	0.45	0.12	0.15	0.04	10.70	2.93
27年目	H61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2636	91.1	5.25	2.28	2.49	10.02	2.64	0.15	0.07	0.23	0.45	0.12	0.15	0.04	10.61	2.80
28年目	H62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2534	91.1	5.18	2.27	2.49	9.94	2.52	0.15	0.07	0.23	0.44	0.11	0.14	0.04	10.53	2.67
29年目	H63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2437	91.1	5.11	2.25	2.49	9.86	2.40	0.14	0.07	0.23	0.44	0.11	0.14	0.03	10.44	2.54
30年目	H64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2343	91.1	5.05	2.23	2.49	9.77	2.29	0.14	0.07	0.23	0.44	0.10	0.14	0.03	10.36	2.43
31年目	H65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2253	91.1	4.98	2.21	2.50	9.69	2.18	0.14	0.06	0.23	0.44	0.10	0.14	0.03	10.27	2.31
32年目	H66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2166	91.1	4.92	2.20	2.50	9.61	2.08	0.14	0.06	0.23	0.44	0.09	0.14	0.03	10.19	2.21
33年目	H67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.2083	91.1	4.85	2.18	2.50	9.53	1.98	0.14	0.06	0.23	0.43	0.09	0.14	0.03	10.10	2.10
34年目	H68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.2003	91.1	4.79	2.16	2.50	9.45	1.89	0.14	0.06	0.23	0.43	0.09	0.14	0.03	10.01	2.01
35年目	H69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1926	91.1	4.72	2.14	2.50	9.37	1.80	0.13	0.06	0.23	0.43	0.08	0.13	0.03	9.93	1.91
36年目	H70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1852	91.1	4.66	2.13	2.50	9.28	1.72	0.13	0.06	0.23	0.43	0.08	0.13	0.02	9.84	1.82
37年目	H71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1780	91.1	4.59	2.11	2.50	9.20	1.64	0.13	0.06	0.23	0.42	0.08	0.13	0.02	9.76	1.74
38年目	H72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1712	91.1	4.53	2.09	2.50	9.12	1.56	0.13	0.06	0.23	0.42	0.07	0.13	0.02	9.67	1.66
39年目	H73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1646	91.1	4.46	2.07	2.50	9.04	1.49	0.13	0.06	0.23	0.42	0.07	0.13	0.02	9.59	1.58
40年目	H74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1583	91.1	4.40	2.05	2.50	8.96	1.42	0.12	0.06	0.23	0.42	0.07	0.13	0.02	9.50	1.50
41年目	H75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1522	91.1	4.33	2.04	2.51	8.87	1.35	0.12	0.06	0.23	0.42	0.06	0.13	0.02	9.42	1.43
42年目	H76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1463	91.1	4.27	2.02	2.51	8.79	1.29	0.12	0.06	0.23	0.41	0.06	0.12	0.02	9.33	1.37
43年目	H77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1407	91.1	4.20	2.00	2.51	8.71	1.23	0.12	0.06	0.23	0.41	0.06	0.12	0.02	9.24	1.30
44年目	H78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1353	91.1	4.14	1.98	2.51	8.63	1.17	0.12	0.06	0.23	0.41	0.06	0.12	0.02	9.16	1.24
45年目	H79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1301	91.1	4.07	1.97	2.51	8.55	1.11	0.12	0.06	0.23	0.41	0.05	0.12	0.02	9.07	1.18
46年目	H80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1251	91.1	4.01	1.95	2.51	8.46	1.06	0.11	0.06	0.23	0.40	0.05	0.12	0.01	8.99	1.12
47年目	H81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1203	91.1	3.94	1.93	2.51	8.38	1.01	0.11	0.06	0.23	0.40	0.05	0.12	0.01	8.90	1.07
48年目	H82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1157	91.1	3.87	1.91	2.51	8.30	0.96	0.11	0.06	0.23	0.40	0.05	0.12	0.01	8.82	1.02
49年目	H83	0.98315	0.99085	1.00037	0.98828	0.1112	91.1	3.81	1.90	2.51	8.22	0.91	0.11	0.06	0.23	0.40	0.04	0.12	0.01	8.73	0.97
合計								269.04	116.48	123.64	509.16	182.83	7.63	3.42	11.47	22.52	7.90	7.40	2.68	539.08	193.41

便益の現在価値算定表

箇所名:三刀屋拡幅(残事業)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				現在価値 (1)*(A)*(B)	走行経費減少便益(億円)				現在価値 (2)*(A)*(B)	事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車種	小型貨物	普通貨物	① 計		乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計		③	現在価値 (3)*(A)*(B)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
完成年次	H34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.7599	91.1	2.64	1.26	0.42	4.32	3.28	0.08	0.04	0.03	0.15	0.12	0.03	0.02	4.50	3.42
1年目	H35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.7307	91.1	2.63	1.25	0.42	4.30	3.14	0.08	0.04	0.03	0.15	0.11	0.03	0.02	4.49	3.28
2年目	H36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.7026	91.1	2.62	1.24	0.43	4.29	3.01	0.08	0.04	0.03	0.15	0.11	0.03	0.02	4.47	3.14
3年目	H37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.6756	91.1	2.61	1.23	0.43	4.27	2.88	0.08	0.04	0.04	0.15	0.10	0.03	0.02	4.45	3.01
4年目	H38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.6496	91.1	2.60	1.22	0.44	4.25	2.76	0.08	0.04	0.04	0.15	0.10	0.03	0.02	4.44	2.88
5年目	H39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.6246	91.1	2.59	1.21	0.44	4.24	2.65	0.08	0.04	0.04	0.15	0.10	0.03	0.02	4.42	2.76
6年目	H40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.6006	91.1	2.58	1.20	0.44	4.22	2.54	0.08	0.04	0.04	0.15	0.09	0.03	0.02	4.41	2.65
7年目	H41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.5775	91.1	2.57	1.19	0.45	4.21	2.43	0.08	0.04	0.04	0.15	0.09	0.03	0.02	4.39	2.54
8年目	H42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.5553	91.1	2.56	1.18	0.45	4.19	2.33	0.08	0.04	0.04	0.15	0.08	0.03	0.02	4.37	2.43
9年目	H43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.5339	91.1	2.53	1.17	0.45	4.16	2.22	0.08	0.04	0.04	0.15	0.08	0.03	0.02	4.34	2.32
10年目	H44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.5134	91.1	2.51	1.16	0.45	4.13	2.12	0.08	0.04	0.04	0.15	0.08	0.03	0.02	4.31	2.21
11年目	H45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4936	91.1	2.48	1.16	0.45	4.09	2.02	0.08	0.04	0.04	0.15	0.07	0.03	0.01	4.27	2.11
12年目	H46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.4746	91.1	2.46	1.15	0.45	4.06	1.93	0.08	0.04	0.04	0.15	0.07	0.03	0.01	4.24	2.01
13年目	H47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.4564	91.1	2.43	1.14	0.45	4.02	1.84	0.08	0.04	0.04	0.15	0.07	0.03	0.01	4.20	1.92
14年目	H48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.4388	91.1	2.40	1.13	0.45	3.99	1.75	0.07	0.03	0.04	0.15	0.06	0.03	0.01	4.17	1.83
15年目	H49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.4220	91.1	2.38	1.12	0.45	3.96	1.67	0.07	0.03	0.04	0.15	0.06	0.03	0.01	4.13	1.74
16年目	H50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.4057	91.1	2.35	1.12	0.45	3.92	1.59	0.07	0.03	0.04	0.14	0.06	0.03	0.01	4.10	1.66
17年目	H51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3901	91.1	2.33	1.11	0.45	3.89	1.52	0.07	0.03	0.04	0.14	0.06	0.03	0.01	4.06	1.58
18年目	H52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3751	91.1	2.30	1.10	0.46	3.86	1.45	0.07	0.03	0.04	0.14	0.05	0.03	0.01	4.03	1.51
19年目	H53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.3607	91.1	2.28	1.09	0.46	3.82	1.38	0.07	0.03	0.04	0.14	0.05	0.03	0.01	3.99	1.44
20年目	H54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.3468	91.1	2.25	1.09	0.46	3.79	1.31	0.07	0.03	0.04	0.14	0.05	0.03	0.01	3.96	1.37
21年目	H55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.3335	91.1	2.22	1.08	0.46	3.76	1.25	0.07	0.03	0.04	0.14	0.05	0.03	0.01	3.92	1.31
22年目	H56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.3207	91.1	2.20	1.07	0.46	3.72	1.19	0.07	0.03	0.04	0.14	0.04	0.03	0.01	3.89	1.25
23年目	H57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.3083	91.1	2.17	1.06	0.46	3.69	1.14	0.07	0.03	0.04	0.14	0.04	0.03	0.01	3.85	1.19
24年目	H58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2965	91.1	2.15	1.05	0.46	3.66	1.08	0.07	0.03	0.04	0.14	0.04	0.03	0.01	3.82	1.13
25年目	H59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2851	91.1	2.12	1.05	0.46	3.62	1.03	0.07	0.03	0.04	0.14	0.04	0.03	0.01	3.78	1.08
26年目	H60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2741	91.1	2.10	1.04	0.46	3.59	0.98	0.07	0.03	0.04	0.13	0.04	0.03	0.01	3.75	1.03
27年目	H61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2636	91.1	2.07	1.03	0.46	3.56	0.94	0.06	0.03	0.04	0.13	0.04	0.03	0.01	3.71	0.98
28年目	H62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2534	91.1	2.04	1.02	0.46	3.52	0.89	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.03	0.01	3.68	0.93
29年目	H63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2437	91.1	2.02	1.01	0.46	3.49	0.85	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.03	0.01	3.64	0.89
30年目	H64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.2343	91.1	1.99	1.01	0.46	3.46	0.81	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.02	0.01	3.61	0.85
31年目	H65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.2253	91.1	1.97	1.00	0.46	3.42	0.77	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.02	0.01	3.58	0.81
32年目	H66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.2166	91.1	1.94	0.99	0.46	3.39	0.73	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.02	0.01	3.54	0.77
33年目	H67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.2083	91.1	1.91	0.98	0.46	3.35	0.70	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.02	0.01	3.51	0.73
34年目	H68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.2003	91.1	1.89	0.97	0.46	3.32	0.67	0.06	0.03	0.04	0.13	0.03	0.02	0.00	3.47	0.70
35年目	H69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1926	91.1	1.86	0.97	0.46	3.29	0.63	0.06	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.44	0.66
36年目	H70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1852	91.1	1.84	0.96	0.46	3.25	0.60	0.06	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.40	0.63
37年目	H71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1780	91.1	1.81	0.95	0.46	3.22	0.57	0.06	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.37	0.60
38年目	H72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1712	91.1	1.79	0.94	0.46	3.19	0.55	0.06	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.33	0.57
39年目	H73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1646	91.1	1.76	0.93	0.46	3.15	0.52	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.30	0.54
40年目	H74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1583	91.1	1.73	0.93	0.46	3.12	0.49	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.26	0.52
41年目	H75	0.98515	0.99147	1.00037	0.98929	0.1522	91.1	1.71	0.92	0.46	3.09	0.47	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.23	0.49
42年目	H76	0.98493	0.99140	1.00037	0.98917	0.1463	91.1	1.68	0.91	0.46	3.05	0.45	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.19	0.47
43年目	H77	0.98470	0.99132	1.00037	0.98905	0.1407	91.1	1.66	0.90	0.46	3.02	0.42	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.16	0.44
44年目	H78	0.98446	0.99125	1.00037	0.98893	0.1353	91.1	1.63	0.90	0.46	2.99	0.40	0.05	0.03	0.04	0.12	0.02	0.02	0.00	3.12	0.42
45年目	H79	0.98421	0.99117	1.00037	0.98881	0.1301	91.1	1.61	0.89	0.46	2.95	0.38	0.05	0.03	0.04	0.11	0.01	0.02	0.00	3.09	0.40
46年目	H80	0.98396	0.99109	1.00037	0.98868	0.1251	91.1	1.58	0.88	0.46	2.92	0.37	0.05	0.03	0.04	0.11	0.01	0.02	0.00	3.05	0.38
47年目	H81	0.98370	0.99101	1.00037	0.98855	0.1203	91.1	1.55	0.87	0.46	2.89	0.35	0.05	0.03	0.04	0.11	0.01	0.02	0.00	3.02	0.36
48年目	H82	0.98343	0.99093	1.00037	0.98842	0.1157	91.1	1.53	0.86	0.46	2.85	0.33	0.05	0.03	0.04	0.11	0.01	0.02	0.00	2.98	0.35
49年目	H83	0.98315	0.99085	1.00037	0.98828	0.1112	91.1	1.50	0.86	0.46	2.82	0.31	0.05	0.03	0.04	0.11	0.01	0.02	0.00	2.95	0.33
合計								106.13	52.54	22.65	181.33	65.71	3.29	1.61	1.84	6.75	2.42	1.31	0.47	189.39	68.60

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道54号	三刀屋拡幅	2,4	4. 1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	7,699	
	改良費		式	1	3,202	
		土工	m3	65,679	263	切土、盛土、残土
		軟弱地盤改良工	m3	17,322	1,244	
		法面工	m2	2,760	4	盛土法面
		擁壁工	式	1	214	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土
		函渠工	式	1	1,477	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	3,352	
		100m以上	m	566	2,859	ME橋(2橋)
		100m未満	m	41	493	PC橋(3橋)
	トンネル費		式	—	—	
		NATM	m	—	—	
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	999	
		車道舗装	m ²	54,302	866	
		歩道舗装	m ²	19,510	133	
	附帯施設費		式	1	146	
		交通管理施設工	式	1	146	標識工、防護柵工、道路照明工、等
		遮音壁	m	—	—	
②用地及び補償費			式	1	4,726	
	用地費		式	1	1,480	
		宅地	m ²	24,356	1,436	
		田畑	m ²	2,148	43	
		山林・原野	m ²	—	—	
	補償費	式	1	3,247		
③間接経費			式	1	1,975	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					14,400	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道54号	三刀屋拡幅	2,4	2.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	1,206	
	改良費		式	1	276	
		土工	m3	8,232	21	切土、盛土、残土
		軟弱地盤改良工	m3	0	0	
		法面工	m2	690	1	盛土法面
		擁壁工	式	1	169	重力式擁壁、補強土
		函渠工	式	1	85	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	446	
		100m以上	m			
		100m未満	m	41	446	PC橋(3橋)
	トンネル費		式	—	—	
		NATM	m	—	—	
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	396	
		車道舗装	m ²	19,940	318	
		歩道舗装	m ²	11,442	78	
	附帯施設費		式	1	88	
		交通管理施設工	式	1	88	標識工、防護柵工、道路照明工、等
		遮音壁	m	—	—	
②用地及び補償費			式	1	1,884	
	用地費		式	1	396	
		宅地	m ²	5,983	353	
		田畑	m ²	2,148	43	
		山林・原野	m ²	—	—	
	補償費		式	1	1,488	
③間接経費			式	1	614	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					3,704	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道54号	三刀屋拡幅	2,4	4.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.1	1,300	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,300	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,600	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道54号	三刀屋拡幅	2,4	2.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.4	700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,800	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			2,500	

一般国道54号三刀屋拡幅
〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画 53号
国中整港計第11号
平成27年11月26日

島根県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通
省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委
員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針
(原案)について審議しております。

このたび、平成27年12月24日(木)に委員会を開催するこ
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い
たします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
斐伊川総合水系環境整備事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道54号 三刀屋拡幅	継続	

【港湾事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
浜田港福井地区臨港道路整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成27年12月15日（火）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田 （内線：3153）

施策分析評価係長 藤野 （内線：3186）

TEL：082-221-9231（代表）

FAX：082-227-2651

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館

高推第107号

平成27年12月11日

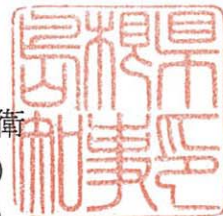
中国地方整備局長 様

島根県知事 溝口 善兵衛

(土木部高速道路推進課)

(土木部河川課)

(土木部港湾空港課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成27年11月26日付け国中整企画第11号、国中整港計第11号で意見照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については、別紙のとおり異存ありません。

記

- ・斐伊川総合水系環境整備事業
- ・一般国道54号三刀屋拡幅
- ・浜田港福井地区臨港道路整備事業



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)案に対する意見

【河川事業】

事業名	斐伊川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 斐伊川水系の宍道湖及び中海は、ラムサール条約の登録湿地であり、国及び県、流域自治体をはじめとする関係機関・団体などが一体となって、その湖沼環境の保全等に積極的に取り組んでいるところである。 斐伊川総合水系環境整備事業については、こうした湖沼環境の保全活動の一環として、浅場造成や覆砂により、湖沼の自然浄化機能を回復させ、水質の改善を図るものであり、引き続き事業を推進して頂きたい。 また、汽水湖の特性を踏まえた新たな湖沼環境改善のための事業や、近年のアオコや水草の異常発生などへの対応についても、積極的に実施して頂きたい。	

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道54号 三刀屋拡幅
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 三刀屋拡幅は、円滑な交通と交通安全の確保、地域経済の発展などに寄与する事業である。県や市の関連する事業なども同時に実施しているところであり、平成27年度開通予定区間の雲南市三刀屋町下熊谷から雲南市木次町里方(区間③-2)については確実な供用を図っていただきたい。また、雲南市三刀屋町三刀屋から市道要害1号線までの間(区間①)についても、円滑な交通と交通安全の確保を図るため整備を促進していただきたい。	

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【港湾事業】

事業名	浜田港福井地区臨港道路整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 浜田港は島根県唯一の国際貿易港であり、福井地区には、コンテナ船・ローロー船・原木船など外国貿易船が寄港しており、高速道路で結ばれている広島都市圏とも近く、島根県はもとより背後中国圏域の経済活性化に重要な役割を果たす港である。 発展著しい北東アジア地域に向けた日本海側拠点港として、県及び浜田市などが連携し、取扱貨物の増加に向けた取り組みを行っているところである。 臨港道路福井4号線により、高速道路ネットワークと港が直結されることで、物流の効率化が図られ、地域経済の発展に寄与することが期待される。 また、大規模災害時には、緊急物資等が円滑に輸送できるようになる。 平成28年度には、山陰道「浜田・三隅道路」の全区間供用開始が予定されており、この臨港道路整備事業を促進し、早期完成を図って頂きたい。	